

特別養護老人ホーム 第二天神の杜

ま す な

- 絆 -

第 39 号

2021 年 6 月 30 日発行



第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜



家族の会ご挨拶



会長 福田 竜造

新型コロナウイルス感染症による影響で大変な状況ではございますが、会員の皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。家族としては、入居者様に直接会えず寂しく感じた1年間だったと思います。コロナ禍でもできる限り「いつもの生活」ができるように寄り添ったケアをしていただいていることに感謝致します。

今、家族にできることは、施設の感染予防対策に私たち家族が理解し協力していくことが大切なことだと思います。施設では早い時期からワクチン接種を開始されています。ワクチンの効果で新型コロナウイルス感染症の流行が1日も早く収束することと以前のように施設に自由に出入りし入居者様と家族様との時間が持てることを願っております。



施設からのご挨拶



施設長 千葉 功貴

新型コロナウイルス感染症が国内で発症して、1年半が経ちます。誰にとっても大変な1年半だったと思います。家族の皆様におかれましては、施設内に入ることがほとんどできず窓越しでの面会となり、入居者様はじめご家族様には大変ご不便をおかけしています。また施設の感染予防対策の対応にご理解ご協力していただき誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み少しずつですが、希望の光も見えてきました。ワクチン接種について長岡京市と連携させていただき、入居者様には4月23日を皮切りに、5月中旬までには入居者様の2回目の接種も終了いたしました。ワクチン接種後の1回目・2回目ともに、高熱やワクチン接種による大きな副反応が見られず、職員一同安心しております。また、職員のワクチン接種に関しましても、5月21日を皮切りに6月までに2回目のワクチン接種を終了致しております。また、施設内でのクラスターを発生させないという目的で、職員向けに3月には抗原検査、6月中旬から末にかけてはPCR検査の実施を予定しており感染の有無の確認をしております。

よく言われていることですが、ワクチンを接種したから「大丈夫」、検査で陰性だったから「大丈夫」ではなく、入居者様の安心・安全を考えて、引き続き感染対策を実施していきますのでご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。

家族様には、引き続きご不便をおかけいたしますが、できるだけ早く元の生活に戻り、家族様が気兼ねなくユニットにて面会できる日を願っております。

※施設内での家族様の面会につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況をみてご連絡させていただきます。



施設活動報告



4月 お花見ドライブ

長岡天満宮や長岡中学校など桜の名所をドライブしました。「来年も花見ドライブに連れて行ってほしい」「きれいな桜を見られて嬉しい」と、年に1度の桜を楽しまれました。



6月1日 第二天神の杜 11周年

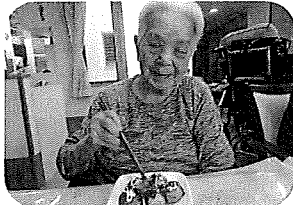
新型コロナウイルス感染症対策のため、午後からユニットごとに多目的ホールと喫茶室で実施しました。今年は、自分で好きなものをトッピングしてオリジナルのパフェを作って召しあがってもらいました。「美味しい」「きれいなパフェ」「おかわりちょうだい」「いつもと違う場所で楽しかった」と、皆様はいつもと違う日常を楽しんでおられました。



ユ ニ ッ

わかくさ

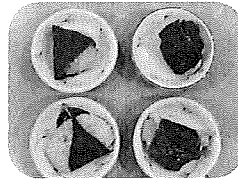
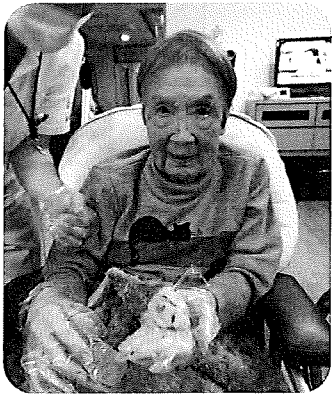
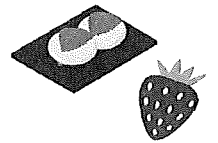
4月15日 尾村ゆきい様 お誕生日会
101歳のお誕生日にたこ焼きを作り、皆様でお祝いしました。



5月11日 コロケ作り
皆様と一緒に作り、美味しくいただきました。

さわらび

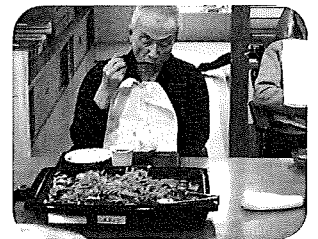
4月4日 桜餅を作ろう
皆様で餡を道明寺粉でくるみ、桜の葉で巻きました。



5月9日 いちご狩り
真っ赤に熟れた採れたてのいちごをスムージーにして楽しみました。

なでしこ

5月17日 お好み焼きと焼きそばを食べよう
ホットプレートを使い、できたてを皆様で美味しくいただきました。



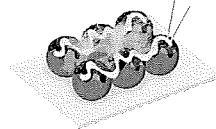
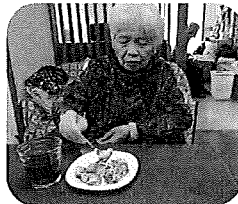
5月29日 お手伝い
いつもありがとうございます。



ト 報 告

ききょう

4月28日 中村様 歓迎会
できたてのたこ焼きを、皆様でたくさんいただきました。



はぎ

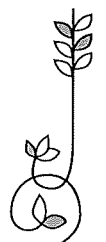
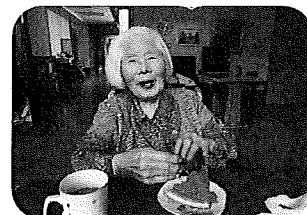
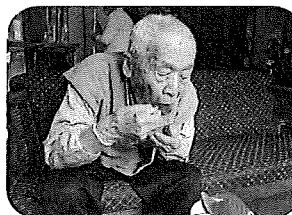
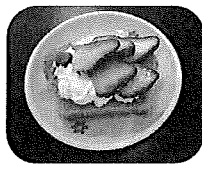
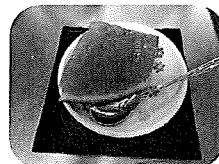
5月24日 食彩企画
うな重に茶碗蒸し、手作りのアイスクリームを堪能しました。

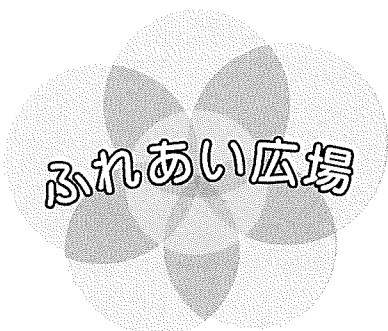


こぐり

5月3日~8日 しょうぶ湯
ゆっくりとお風呂を楽しまれました。

5月11日 スイカゼリー
食べやすいゼリーにしました。スイカそのものです。





このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に
取り上げています。家族様から寄せていただいたお話
をご紹介します。

私の父、田中 武夫

田中 栄



父はスペインインフルエンザが猖獗^{しょうけつ}を極めていた大正4年11月12日に、京都市で7人兄弟の5男として生まれました。乳幼児死亡率が高い当時の例にもれず、成人まで成長したのは本人と兄と妹の3人でした。

待賢尋常小学校を卒業後、日出新聞社（現京都新聞）に給任として就職しました。その後、新聞印刷用の活字を拾い紙面を作る文選工となり、その成果か今でも新聞を読むのが大好きで漢字も驚くほど良く知っています。その後、新兵として召集令状を受け、満州国のハルピン（現中国黒龍江省）に駐留しました。第二次世界大戦では仏領インドシナ（現ベトナム）、英領マラヤ（現マレーシア）、シンガポール、タイを経てビルマ（現ミャンマー）にて鉄道工兵として映画「戦場にかける橋」で有名な泰緬鉄道の建設に従事し、マラリアやアミーバー赤痢に罹るものもとせず、最終的にラングーン（現ヤンゴン）にて捕虜となりました。昭和22年に復員し、佐世保より京都に五体満足で帰国できました。

帰国後は京都市の市電の車掌として長年勤務し、定年後も80歳過ぎまで阪急バスや府立婦人教育会館に勤めました。その後は近所に畑を借りて野菜作りに励み、90歳過ぎまでバイクに乗っていました。父はとても優しくいつも朗らかで、冗談ばかり言って人を和ませて愛される徳のある性格です。また、極寒の地から熱帯まで生き延びる適応能力が高く、お陰様で105歳の長命を保っております。食べ物に好き嫌いはなく、特にビフカツやコーヒーやココア等の洋食系のものや餃子やピロシキなど油の濃いものが好物です。

天神の杜のデイサービスやショートステイで長年お世話になっておりました。ご縁があり、令和2年9月より入居させていただき、スタッフの皆様の温かいご支援により日々穏やかに過ごさせていただいております。本当にありがとうございます。これからもよろしく願い申し上げます。

祖母 有山 ユキエについて

原 舞衣子



祖母、有山 ユキエは大正15年1月1日に生まれ、5年前に長岡京へ移るまでの約90年間を熊本県人吉市で過ごしました。幼い頃から、5人兄弟の長女として子守に明け暮れる日々を過ごし、その後郵便局に就職。けれど元来オシャレが大好きな祖母は、電話局の制服である矢がすりの着物に憧れて、80倍の競争率を見事勝ち抜いて転職を果たすという、お茶目さとチャレンジ精神を持つ人でもありました。

戦後はGHQの影響で英語を勉強して、電話交換手として活躍。昇進を重ねて定年直前まで働き続けた、キャリアウーマンです。今とは違い、仕事と子育ての両立が難しかった時代ですから、苦勞も多かったと思います。厳しい上司だと恐れられていたそうですが、部下が困っている時にはそっと手を差し伸べる、優しい面もあったそうです。

多忙な日々の中にあっても、趣味の時間は大切にされていて、得意の裁縫の腕を奮って知人の服を作ったり、冬になればマフラーや鍵編みのこたつカバーを編んだり、常に大好きな服飾と関わりながら過ごしていました。今でも服への興味は尽きないようで、服飾のカタログを見ると楽しそうに、いつまでも眺めています。そしておもしろいことに「服飾大好き！」な血はしっかりと孫娘に受け継がれ、祖母によく似た私の妹は、東京でデザイナーとして働くようになりました。

仕事も趣味も一生懸命だった祖母ですが、祖父との出会いはとてもロマンティックでした。地元の教会に通っていた祖母に祖父が一目ぼれし、何度もアタックをしてようやく付き合うことになったのだとか。デートの際には、祖母の家の前で祖父がギターを弾いて呼び出していたそうなので、九州の田舎町ではさぞ目立ったことだろうと思います。そんな祖父母の家は、当時の家には珍しく、ダンスホールにもなる洋間があり、ガラス棚の中にはカクテル用の洋酒が並ぶ、とてもお洒落なものでした。私が小学生の頃、夏休みを利用して遊びに行くと、祖母は持ち前のセンスを発揮して「これが似合うたい！」と、お洒落な洋服を買ってくれたことを、今でも覚えています。

祖父が他界し、住み慣れた故郷から長岡京へ移るのは、高齢の祖母にとって、とても不安だったと思います。けれど、まるで奇跡のように同郷のスタッフさんが居て下さったり、祖母に様々な面で優しく寄り添って下さる第二天神の杜さんのおかげで、とても穏やかに過ごすことができています。母をはじめ、父、そして孫一同、とても感謝しております。本当に、ありがとうございます。

おばあちゃん、ひ孫の成長を見守るためにも、まだまだ元気でいてね！！

2020年度 社会福祉法人 長岡京せいしん会 決算報告

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行により稼働率に影響が出ましたが、入居者様・利用者様とその家族様、そして職員の徹底した感染予防対策によりクラスターの発生を防ぐことができました。介護保険事業収入は778,597千円と前年度に比べ10,547千円増加していますが、この中には前年度に比べ特定処遇改善加算が6,600千円増えて13,078千円となっていることから、今年度の増加分を差し引くと、実質的には3,947千円の増収となりました。

支出の部では、人件費で介護職員等への処遇改善のための特定処遇改善加算手当が前年度に比べ6,647千円増え13,125千円（内加算分13,078千円）となっていますが、今年度の増加分を差し引くと、ほぼ前年度並みの決算額となりました。

事業活動資金収支差額は、前年度に比べ15,366千円増加（改善）して63,292千円となりました。

尚、この2020年度決算につきましては、2021年6月5日の理事会（書面会議）と6月26日に開催されました評議員会で承認されましたことをご報告いたします。

2021年度も引き続き、感染予防に取り組みながらケアサービスの向上並びに安定経営のための財務状況の改善にも努めてまいります。

2020年度 社会福祉法人 長岡京せいしん会 決算報告書					
資金収支計算書					
(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日					
単位：千円					
勘定科目	法人合計	社会福祉事業			公益事業
		天神の杜	第二天神の杜	予防型デイ	居宅介護支援事業所
●事業活動による収支					
介護保険事業収入	778,597	444,348	314,564	7,668	12,017
その他の事業収入	11,762	0	11,762	0	0
補助金収入	14,009	6,620	6,260	705	424
その他の収入	9,370	6,502	2,708	69	91
事業活動収入計①	813,738	457,470	335,294	8,442	12,532
人件費支出	515,675	304,785	197,472	0	13,418
一般経費支出	224,270	124,733	93,303	5,261	973
その他の支出	10,501	4,114	6,091	189	107
事業活動支出計②	750,446	433,632	296,866	5,450	14,498
事業活動資金収支差額③=①-②	63,292	23,838	38,428	2,992	▲ 1,966
●施設整備等による収支					
施設整備等収入計④	5,218	0	5,218	0	0
施設整備等支出計⑤	66,428	35,480	30,206	259	483
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	▲ 61,210	▲ 35,480	▲ 24,988	▲ 259	▲ 483
●その他の活動による収支					
その他の活動収入計⑦	18,090	11,890	6,200	0	0
その他の活動支出計⑧	18,814	3,525	15,280	9	0
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	▲ 724	8,365	▲ 9,080	▲ 9	0
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	1,358	▲ 3,277	4,360	2,724	▲ 2,449

社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]